

壬生町の共同実施



町の花「ゆうがお」

テーマ

壬生町の子どもが

『学び・成長を遂げるための環境づくり』
をめざして

(資料1) 平成18年度 壬生町小中学校事務共同実施連絡協議会事業報告

月	事業内容
4月	<p>1 3 調査研究委員会① 鈴木壬生中学校長 ・活動3年目まとめの期待 17年度成果報告 18年度実践計画と重点項目 18年度項目別年間計画の作成 壬教委加藤主任より 経常的消耗品等予算執行について説明 1 4 「M-10NET」第18号 発行。改正給与条例掲載。 2 5 壬教委主催 予算配当説明会</p>
5月	<p>1 2 調査研究委員会② ・教材備品一括購入について ・町予算執行(補助金、負担金等)について ・班別協議 1 5 「M-10NET」第19号 発行。 1 7 教材備品見積依頼打合せ 連絡協議会長 壬教委学校教育課長 2 3 第1回 運営委員会 壬教委 学校教育課長 庶務係長 17年度実践報告 18年度実践計画の提案・審議・採決 「学校事務職員の学校支援について」提案・審議</p>
6月	<p>1 調査研究委員会③ ・運営委員会報告 ・教材備品一括購入について(課題と対応検討) 5 町小中学校長会議において報告、説明 ・今年度の共同実施活動について ・教材備品の一括購入について 9 調査研究委員会④ 町費事務職員との合同会議 ・教材備品一括購入について、納品と請求事務処理について 1 5 「M-10NET」第20号 発行。</p>
7月	<p>1 3 調査研究委員会⑤ ・旅費(修学旅行費の実費請求)について ・班別協議 1 4 「M-10NET」第21号 発行。</p>
8月	<p>1 調査研究委員会⑥ ・業務委託関係について ・班別協議 1 4 調査研究委員会⑦ ・班別協議 1 5 「M-10NET」第22号 発行。 2 2 調査研究委員会⑧ ・班別協議</p>
9月	<p>1 2 町小中学校教頭会議において報告、説明 ・壬生町小中学校事務共同実施概要と経緯について ・教材備品共同購入について ・提出文書事務処理要領について ・備品管理システムについて 1 4 調査研究委員会⑨ ・班別協議</p>
10月	<p>1 2 調査研究委員会⑩ ・旅行登録票パソコン入力について ・班別協議 ・提出文書事務処理要領、会計簿手引き等各種マニュアル完成・確認 1 3 壬教委主催 予算要望説明会 1 3 「M-10NET」第24号 発行。 2 3 第2回 運営委員会 壬教委 学校教育課長 指導主事 18年度実践状況報告 各種マニュアル原案提案 19年度予算 諸規程の整備について</p>
11月	<p>6 期末勤勉手当支給調整該当者事前審査 1 4 調査研究委員会⑪ ・班別協議 ・予算要望について(学校教育課長 副主幹) 1 5 「M-10NET」第25号 発行。 1 7 栃事研学校事務研究大会 「共同実施」にかかるシンポジウム 壬生町小中学校事務共同実施について、状況報告</p>
12月	<p>4 町小中学校長会議において報告、説明 ・今年度の共同実施活動について ・教材備品共同購入について ・出勤簿の取扱について ・アンケートについて ・今後の取り組みについて 諸規程整備 各種マニュアルの配付と活用について 1 4 調査研究委員会⑫ ・班別協議 ・定期監査実施校報告 1 5 「M-10NET」第26号 発行。</p>
1月	<p>1 2 調査研究委員会⑬ ・班別協議(次年度の活動計画検討) 1 5 「M-10NET」第27号 発行。 「M-10NET」号外(源泉徴収票について)発行。 ☆ 2 4 「出勤簿の取扱について」 壬生町教育委員会通知</p>
2月	<p>6 栃事研主催 共同実施連絡会議(室長 班長等出席) 1 3 第3回運営委員会 1 4 調査研究委員会⑭ 1 5 「M-10NET」第28号 発行。 2 7 提出文書処理要項等(10項目)マニュアルの配付</p>
3月	<p>1 4 調査研究委員会⑮ 1 5 「M-10NET」第29号 発行。 ☆「学校事務」誌 5月号執筆</p>

	成 果	課 題
十六年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下教事との連携により、旅費代表校入力がはじまり、出張回数と旅費の削減になった。 ・ 就学援助費の支給については、全校パソコンによるシステム化によって事務の軽減が図られた。 ・ 町費執行上における改正事項等、担当者による説明があり、迅速に事務処理ができた。 ・ 連絡協議会を通し、壬教委・校長会・教頭会との連携を図ることができた。 ・ 町単位の共同実施なので、教育委員会との連携がより深めることができた。 ・ 校長会の支援を得、アンケートを実施することができた。 ・ 壬生中事務室2をワーキングスペースとし、計画どおり研究が進められた。 ・ 「M-1 ONET だより」を発行することによって、教職員の共通理解を図ることができた。 ・ 学校間の情報交換が密になり、正確・迅速な事務処理ができるようになった。 ・ 育休等の臨時任用職員への指導・助言がスムーズに図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携校は壬生中への出張回数が多くなった。 ・ 壬生中事務室2のパソコン、空調設備等の環境整備が必要。 ・ 教頭を含めた調査研究委員会を実施することができなかった。 ・ 共同実施における決裁権、専決権の検討。 ・ 共同実施の継続性、一貫性を確保するためには運営規程が必要。 ・ パソコン利用による効率化が必要だが、研修不足。 ・ 旅費・給与・町費等、予算削減に伴う改正事項が多く対応に苦慮している。
十七年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進事務室にエアコン・パソコンが設置され、施設の整備・充実が図られた。 ・ ホームページを開設し、各学校でデータの共有化が図られるようになった。 ・ アンケートの結果から、復命書・会計決算の様式について校長会に提案し、様式を統一することができた。 ・ 教育委員会と連携を図り、備品購入・就学援助等における事務処理がスムーズに行うことができた。 ・ 栃教委研究実践要項の報告事項に『研究成果を、地区内外の事務職員に研究会等の機会を通して広める』とあり、本年度は以下の活動を行う （栃事研大会第1分科会において、実践活動の報告を行い意見等をいただいた。） （11月大田原教育会事務部会、12月日光市中学校区へ実践内容の説明・交流研修） ・ エクセルによる新システムに対応した町費マニュアルを作成・配付し活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月に旅費制度改正があり、改正後の確認・互審査に時間がとられた。また、壬教委から備品購入手続きの改正事項の説明をいただいたこともあり、班別に取り組む活動時間が確保できなかった。 ・ 本年度も、各学校へ支援・還元するための具体的な実践内容を確立するには至らなかった。 ・ 財務に関しては、施設・設備改修、契約・物品の出納・管理等を教頭が担当している学校があり、連絡調整を図る必要がある。 ・ 備品購入手続きの改正に伴い、執行事務が複雑化し購入時期が遅れてしまった。
十八年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校支援制度が導入できた。 ・ 教材備品一括購入することにより、各学校は仕様書作成のみで執行事務の負担がなくなった。更に備品の早期活用と経費の節減が図られた。 ・ 教頭を含めた調査研究委員会が壬教委合同で、年2回実施できた。 ・ 校長会（年2回）、教頭会（年1回）への実践内容説明の要請があり報告を行う。 ・ 備品台帳システム化における予算が計上された。 ・ 提出文書事務処理要領・備品台帳の手引き等、教頭会・壬教委の監修を受け作成することができた。 ・ 壬生町立小中学校の出勤簿の取り扱い、様式について改訂を行う。 ・ 町校長会を通じて、研究実践に関わるアンケートを実施し、3ヶ年間の取り組みと、次年度以降の実践についてのご意見をいただくことができた。 ・ 各班で作成した、学籍証明書・児童生徒転出入・文書管理・就学援助・提出文書事務処理要項・備品の手引き・会計簿決算報告書の記入例・学校徴収金等のマニュアルを壬教委の監修を受け、冊子として各学校に配付できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践活動の時間が不足。 ・ 教育委員会との連携は図られたが、給与・旅費等の関わりでは下教事との連携も必要。 ・ 作成資料活用のため、学校事務職員を対象にしたパソコン研修が必要。 ・ 各種マニュアルを作成したが、今後の活用のため教職員への周知が必要。

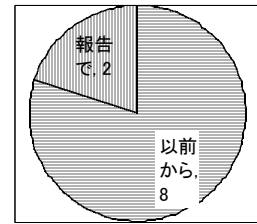
壬生町小中学校事務共同実施に関するアンケート(報告)

H19.110

平成18年12月に実施いたしましたアンケートにつきまして、以下のようなご意見をいただきました。
(回答数 10校)

質問1 共同実施の認知度についておたずねします。

- ・取り組み以前から知っていた 8
- ・活動の報告や広報(M-10NETだより)で知った 2
- ・知らない 0



※一般の教職員は、広報(M-10NETだより)や校長、事務長の報告・説明を通して具体的な取り組みの状況を知り理解していったように思います。

質問2 「負担に感じる事務処理」については、「会計事務」とする意見を多くいただきましたが、各種報告が連動した決算報告が作成されることで負担は軽減されると思われますか。

- ・会計事務の負担は変わらない 1
- ・連動した決算報告書式などにより、以前に比べ負担が軽減されると思う 8
- ・会計事務を負担に感じない 0

※実際に以前に比べ事務負担が軽減したとの声を聞いています。特に異動したての教職員にとっては、マニュアルがあるとのことでより安心感を抱くようです。

※会計事務の連動のため、必要以外の項目が多くあり、現在のところ少し時間がかかる。

質問3 「合理化してほしい事務処理」については、「会計事務」とする意見を多くいただきましたが、書式が整うことで合理化されると思われますか。

- ・書式が整っても合理化が進むとは思えない 1
- ・連動した決算報告書式ができれば合理化されると思う 9

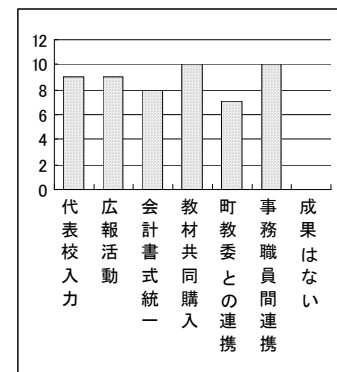
※以前から願っていました。私を含め教員は、行政的(?)な文書作成のノウハウを知る機会に恵まれませんから。文書書式は異動するたび違うのです。

※金銭を扱う限り、決算報告等の書式を統一することにより、かなりの負担軽減がはかれると思う。実際に軽減されています。

※今回の研修が完全に成立されれば、合理化にもなり上記2の間も解決できる。

質問4 学校事務・業務の共同実施に期待するもの、成果があったと感じられる取り組みについてお伺いします。(複数回答可)

- ・代表校入力による旅費審査出張の削減 9
- ・町内統一広報(M-10NETだより)による各種情報の提供 9
- ・会計報告書式の統一と連動による合理化 8
- ・教材備品の共同購入による予算の効率的・効果的な執行 10
- ・町教委等関係機関との連携による事務の合理化 7
- ・学校事務職員連携による学校事務職員間の事務指導 10
- ・成果があったとは感じられない 0



※M-10さえ読むゆとりを持たない(持てない?)教職員が多いのでは?私はファイルさせてもらって今になって学習しています。若い人が読むといいのにと思います。私の若い頃は何もありませんでした。お金を仕分ける楽しみ?は味わいましたが・・・

※あげられている項目、すべての分野に関して多大な成果があがったと思います。事務共同実施を進めてきたことの意義は大きいと思います。

質問5 週1回半日、月2回半日といった頻度で開催している地区もありますが、壬生町では、学校不在時間を増やさないようするため、明細書配布日(月1回=年12回・半日程度)と長期休業中に3回程度の開催としました。開催日数についておたずねします。

- 開催日数が多い (年・月・週 回程度でよい)
- 10 今のままでよい**
- 必要に応じて増やしても良い (年・月・週 回程度までならよい)

※本当にいてもらえるとありがたい。特に接遇、業者対応では安心ですから

諸規程等に係る整備について (案)

壬生町小中学校事務の共同実施は、平成16年度から壬生中学校に第7次定数改善計画による加配職員が配置され、3年間共同実施の実践活動を行いました。壬生町教育委員会、校長会、教頭会等の御指導・御援助をいただきながら、別紙のとおりいくつかの成果をあげることができました。平成18年度で指定期間は終了しますが、町全体の取り組みであり、この組織、実践成果を活かし次年度以降も継続して活動していきたいと思っております。そのためにも、下記の諸規程の整備を検討していただけますようお願いいたします。

記

1 町管理規則

(共同実施組織)

第〇〇条 教育委員会は、学校における事務及び業務の効率化と学校運営に関する支援・還元を行うため、共同実施組織を置くことができる。

2 共同実施組織の組織及び運営に関し必要な事項は、壬生町小中学校事務共同実施連絡協議会運営要綱の定めるところによる。

2 壬生町小中学校事務共同実施連絡協議会運営要綱

(目的)

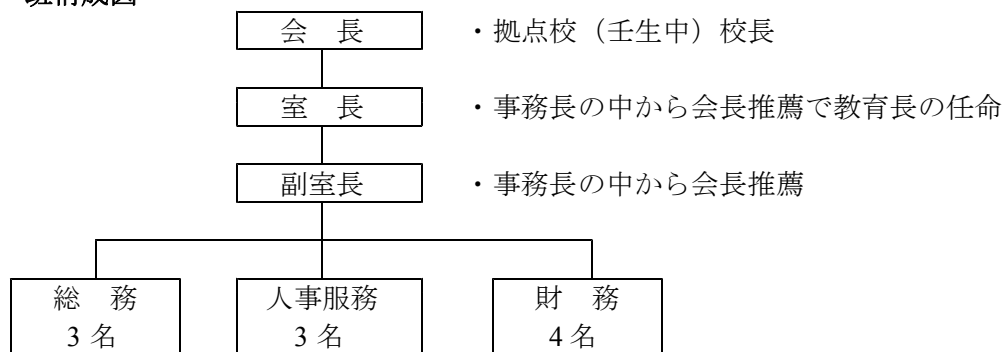
(組織)

(会長) 拠点校校長

(会議及び協議事項) 4項目

(支援事務室) 室長及び副室長

班構成図



3 壬生町小中学校事務共同実施事務処理規程

(目的) 業務内容の具体化

(業務内容) 学校支援、班別業務内容

(業務内容の処理体制) 校長からの委任事務

(業務内容の処理規準) 事務処理マニュアル等

4 辞令

壬生町小中学校支援事務室への兼務
支援事務室長の任命